

令和5年度（2023年度）
事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	泉南市商工会	
	代表者職・氏名	会長 藤田 眞弘	
	所在地	〒590-0535 大阪府泉南市りんくう南浜2-5	
	担当者	職・氏名	事務局長 土井 一茂
		連絡先	TEL（直通）： 072-483-6365
Fax： 072-483-5321			
E-mail： info@sennan-sci.or.jp			
①設立年月日	昭和47年7月10日		
②職員数 （うち経営指導員数）	6名（経営指導員5名）（令和5年4月1日現在）		
③所管地域	大阪府泉南市		
④管内事業所数	2,128事業所（平成28年度経済センサス）		
⑤管内小規模事業者数	1,423事業所（平成28年度経済センサス）		
⑥会員数（組織率）	1,218事業所（57.2% 令和5年3月31日現在）		
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること			
□主な事業概要（定款記載事項等）			
<p>(1) 商工業に関し、相談に応じ、又は指導を行うこと。</p> <p>(2) 商工業に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。</p> <p>(3) 商工業に関する調査研究を行うこと。</p> <p>(4) 商工業に関する講習会又は講演会を開催すること。</p> <p>(5) 展示会等を開催し、又はこれらの開催のあっせんを行うこと。</p> <p>(6) 商工業に関する施設を設置し、維持し、又は運用すること。</p> <p>(7) 商工会として意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。</p> <p>(8) 行政庁等の諮問に応じて答申すること。</p> <p>(9) 社会一般の福祉の増進に資する事業を行うこと。</p> <p>(10) 商工業者の委託を受けて、当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む）を処理すること。</p> <p>(11) 大阪府商工会連合会の委託を受けて商工貯蓄共済事業の業務を行うこと。</p> <p>(12) 商工業者の福祉厚生に資する事業を行うこと。</p> <p>(13) 行政庁から委託を受けた事務を行うこと。</p> <p>(14) 外国人研修生の受け入れに関する事業を行うこと。</p> <p>(15) 前各号に掲げるもののほか、その他商工会の目的を達成するために必要な事業を行うこと。</p>			

2. 事業概要

泉南市商工会

(1) 事業の目標

地域小規模事業者の抱える個々の課題については巡回訪問等により課題を把握し、経営相談や専門相談により迅速に対処していく。そのために各種支援制度や補助金・助成金制度等の情報発信を行い、即座に対応が出来る体制を整える。

中小企業・小規模事業者への経営指導や地域活性化事業等の取り組みについては、前述の巡回訪問により情報を得た事業所のニーズに基づき、“事業者の抱える課題は何か”をヒアリング時に意識して接することに努める。各事業所の課題に必要な経営支援を的確に判断し遂行することで商工会への信頼に繋げ、役立つ様々な情報の提供を行い、事業所が気軽に相談できるよう、出来るだけ先方へ実訪するよう努める。前向きに取り組む事業所に対し実績が上がるような経営指導や地域活性化事業等に取り組むことを心掛ける。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

経営相談支援事業では、各事業所のニーズと現況を十分に把握した上で、迅速かつ的確な回答が出来るよう職員の資質向上に努め体制を整えた。特に迅速な情報提供と会員アンケートを実施する等巡回訪問を重点的に実施する中、専門相談支援事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少から資金繰りが厳しい事業所が多く、各事業所の実態に合わせた融資金の供給を心掛けた。特にキャッシュフローが少なく返済原資が出てこない事業所については、事業計画書の作成等キャッシュフローの増大を図る為の経営指導を合わせて行った。地域活性化事業については、阪南市・熊取町・岬町・忠岡町商工会他泉州地域全体の広域連携を心掛け、新型コロナウイルス感染症対策を講じ効率的に効果が上がるように事業を実施した。また、令和5年10月より開始されるインボイス制度に伴い記帳支援が増え、個別支援だけではなく、セミナーを複数回開催するなどして事業所の知識習得に向けて丁寧な支援をすることに努めた。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業では、巡回による事業所の実態把握により、迅速かつ的確な支援を提供できた。多種に渡る課題に対応し、相談事業者に一歩踏み込んだ伴走型個社支援（新事業支援Vチャレンジ事業、新事業展開テイクオフ支援事業）で効果的な経営支援が出来た。

地域活性化事業では、感染症対策を講じイベント開催を積極的に実施し「泉南まるごとフェスティバル」を泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）にて開催した。実施にあたっては各団体の協力のもとイベント運営・実行委員会が軌道に乗せ、販路開拓や商品開発等に取り組んだ。「せんなんまちゼミ」においても実行委員会が中心となり、「泉南まるごとフェスティバル」内にPRブースを設置し認知度向上のための映像上映とミニ講座体験の開催、せんなんまちゼミ公式LINEのお友達登録の推進を実施した。「工業振興対策事業」ではニーズの高い先進事業所視察と情報交換会、経営セミナーを開催した。また、地域課題である雇用促進における人材不足の解消を目的とした「人材ニーズ対応支援事業」をYoutube動画配信し、市内事業所から特に要望の多かったSNSによる効果的な情報発信、顧客との関係構築、広告活用による「情報発信力強化事業」をセミナー開催した。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、事業規模・業種を問わずあらゆる事業所が甚大な影響を受け、極めて厳しい経営状況が継続している。感染症の影響が長期化する中、経営相談支援事業では多くの事業者が高齢化し事業継続が精一杯の状態であり、後継者不在のため事業継承をスムーズに行えておらず、地域活性化事業では前向きな事業者が増えているが、販売イベントや展示会の開催は未だ感染症拡大以前に戻らず、商機を逃す現況に変化は感じない。

商工会は事業の内容拡充を図り、感染症等に関する窓口支援に加え、最低賃金引き上げやデジタル化、インボイス制度導入の対応といった事業環境変化による影響を受ける中小・小規模事業者からの経営相談や各種申請サポートを行うため、相談員等の配置による支援体制の強化や課題解決を円滑に進めるための専門家の派遣、制度周知・広報事業により一層取り組む必要を感じた。

(5) 次年度の取り組み

長期化する感染症の影響、緊迫が続く国際情勢に伴う資材・原材料等の高騰や急激な為替変動による円安の進行などは、地域経済の在り方を抜本的に変えるには十分なものであり、中小・小規模事業所を取り巻く経済は依然として非常に厳しい状況にある。こうした現状を踏まえ、商工会は巡回指導を基本とした伴走型の指導・助言により事業所の実態把握に努め、ウィズコロナを見据えたビジネスの変革に伴うデジタル化の推進、新事業展開へ向けた事業計画作成や令和5年10月より開始するインボイス制度への対応をはじめ、脱炭素・カーボンニュートラル・雇用促進・人材育成・ジェンダーレスなど持続可能な社会実現に向け、中小・小規模事業者のニーズにあった適切な事業支援の拡充を図り、経営課題解決に向け支援を実施する。また、「泉南まるごと物産展事業」「せんなんまちゼミ事業」「工業振興対策事業」を中心とした地域活性化事業の実施において、地域経済の更なる活力を生み出せるよう企画立案し実施する。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 泉南市商工会

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻、国際商品相場の高騰と景気悪化などにより、円安の進行やエネルギー価格・原材料費の高騰が収益を圧迫するなど中小・小規模事業所を取り巻く経営環境は依然として厳しい業況にある。当商工会では、経営指導員の窓口での相談対応や巡回時の事業所実訪の際に、事業主とのコミュニケーションを図り、経営状況の課題抽出が出来るよう心掛け相談支援を実施した。事業所へのサービス提案において、課題解決に向けた支援内容を明確に提示し、そして改善出来るまで継続支援していくという姿勢を示し、相談事業者の信頼を得られるよう努めた。

経営相談支援事業は令和5年10月より開始されるインボイス制度に伴い記帳支援が非常に多い年となり、個別支援だけではなく、セミナーを複数回開催するなどして事業所の知識習得に向けて丁寧な支援をすることに努めた。高度専門化する相談内容に対応するため、専門家の知識が必要である場合が多く、弁護士・税理士・中小企業診断士・社会保険労務士等専門家と連携（支援機関等へのつなぎ）出来る無料相談窓口体制を取っている。支援機関との繋ぎについては、必ず経営指導員も同行することを励行しており、経過を把握することが出来たことに加え、経営指導員の資質向上にも繋がっている。

<代表事例カルテ>

他社勤務後に父親が経営する塗装会社に入社し、1998年4月より独立開業する。職人としての資質・腕前は申し分なく、関西一円の現場にて主に集合住宅等の塗装工事を請け負っている。今回新型コロナウイルス感染症の長期化する中、工場の塗装工事が延期になり塗料や職人の手配等経費が圧迫したことから、経営の安定化を目指し金融支援を実施した。

	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	210	233	111.0%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	25	11	44.0%	3
金融支援（紹介型）	支援数	10	7	70.0%	4
金融支援（経営指導型）	支援数	40	27	67.5%	4
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	3	1	33.3%	4
資金繰り計画作成支援	事業所	5	0	0.0%	2
記帳支援	事業所	50	120	240.0%	5
労務支援	支援数	45	45	100.0%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0	0.0%	-
マーケティング力向上支援	事業所	2	0	0.0%	2
販路開拓支援	支援数	45	50	111.1%	5
事業計画作成支援	支援数	20	12	60.0%	5
創業支援	事業所	5	2	40.0%	3
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	5	0	0.0%	2
コスト削減計画作成支援	事業所	5	6	120.0%	5
財務分析支援	事業所	10	17	170.0%	5
5S支援	事業所	0	0	0.0%	-
IT化支援	事業所	5	4	80.0%	5
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	0.0%	-
事業承継支援	事業所	10	4	40.0%	3
災害時対応支援	事業所	0	0	0.0%	-
フォローアップ支援	事業所	50	50	100.0%	5
結果報告	事業所	210	233	111.0%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

税務相談においては、事業主の高齢化に伴い、事業承継（相続）に係る相談が多く、事業承継をスムーズに行うため税務面からの解決に役立った。法務相談においては、労務相談や税務相談では対応しきれない事業遂行上の諸問題に対し、法律面から適切なアドバイスをしていただき、解決に向け前進させることが出来た。労務相談においては、各種助成事業の紹介や取り組み・労使双方の問題解決を心掛けた。経営相談においては、各事業所の抱える経営問題を掘り下げ、経営状況の分析に基づいた適切な支援を実施することが出来た。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	支援日数	事業評価
法務相談	継続	相談件数	6	12	200.0%		5
税務相談	継続	相談件数	6	10	166.7%		5
金融相談							
労務相談	継続	相談件数	6	7	116.7%		5
その他相談	継続	相談件数	12	13	108.3%		5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<p>商業・工業関係における地域活性化事業では、参加事業所の増大と充実を支援のポイントと捉え、参加事業所の目線で事業を実施した。経営セミナー開催では、前半は新型コロナウイルス感染症の影響もあり動画配信でのセミナー開催を実施した。参加事業所からも受け入れられた実感もあり、次年度以降についても知識習得や補助金概略説明等について動画配信の手法を取り入れ実施していく予定である。また、インボイス制度対応の経営実務に直結するセミナー開催においては、各社対応が異なることから、リアル開催し個別相談会などを併催して対応した。イベント等の開催においては、感染症対策を講じWithコロナ時代に適合したイベントの開催を実施した。参加事業所への出店に対する意識の变革を昨年に続き説明するとともに、運営・実行委員会組織を中心に開催する方針も一定の理解を得た中で無事に開催できたことは大きな自信に繋がった。</p> <p>泉南地域活性化の起爆剤としてスタートした「せんなんまちゼミ」は、今年度6年目となるが、実行委員会を中心に参加店勉強会や研修会・交流会等を実施し、イベント実施に向けて再度土台作りからスタートすることで参加意識の向上を図った。また、「泉南まるごとフェスティバル」内やSNSを活用した情報発信にも積極的に取り組んだ。</p> <p>「工業振興対策事業」では、工業系事業所を中心に意見交換をすることで、共通の課題に対する新しい取組みや企間連携を促進した。この事業はりんくう地域全体を範囲とし、事業者間で連携できる体制を整えることを目的とし、工業振興対策委員会を中心にニーズが高かった「インボイス制度対応セミナー」を個別相談会と併催、先進事業所視察と情報交換会は2025年大阪・関西万博開催を控え、リニューアルオープンされた関西国際空港にて開催した。</p> <p>個店の情報発信力を強化することでりんくうタウンに集まった動線を市内全域に広げ経済効果を波及させることを狙いとし、情報発信力強化セミナーを受講することで、販促ツールとしてSNSを活用したことがない事業者であっても、アプリ導入方法からアカウント作成方法、効果的な投稿の手法を学び事業活用することを目的に開催した。</p> <p>泉南を代表するイベントとして令和4年11月20日に、令和2年にオープンした泉南りんくう公園にて「泉南まるごとフェスティバル」（＝地域連携型「泉南まるごと物産展」事業）を開催した。当日天候も雨天から持ち直し4,000名の来場者を迎えた。近隣商工会と連携することで泉州地域でのイベント認知度も大きく上がっていると感じた。傾向として泉南市内事業所からの出店の意向も多くなっており、泉州地域の事業者が売り上げアップを図るため、販路開拓や商品開発などに取り組むことができるよう支援を実施した。この「泉南まるごとフェスティバル」は、泉南市・泉南市観光協会・泉南市商店会連合会・商工会青年部、女性部と連携、また広域連携事業としてオール泉州で取り組むことができ、今年度より運営協議会・実行委員会を組織して企画立案を行いイベントを実施した。</p> <p>大企業に所属する人材のノウハウを活用する機会を創出される動きの中、南泉州地域の人材不足による経営課題を打破するために、雇用ではなく業務委託による副業人材の活用方法を理解し、事業所が人材活用の選択肢を広げ知識を習得することを目的に「人材ニーズ対応支援事業」を開催した。</p> <p>当商工会は昨年に引き続き、令和5年3月8日に「健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）」認定され、今後は健康経営においても積極的に情報発信し、経営相談及びセミナー開催も検討していく。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業	32	29	90.6%	96.6%	事業所や商品のPR、新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合	70%	89.6%	128.0%	5
	工業振興対策事業	35	46	131.4%	93.5%	今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合	70%	93.5%	133.6%	5
	情報発信力強化事業	40	41	102.5%	93.0%	事業に情報発信を取り組んでいく、取り組みたいと回答した事業所の割合	70%	100%	142.9%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	地域連携型「泉南まるごと物産展」事業	50	58	116.0%	87.9%	新規顧客獲得・売上増加した事業所	30社	44社	146.7%	5
○	人材ニーズ対応支援事業	40	43	107.5%	95.3%	今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合	70%	86.0%	122.9%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉南市商工会

事業名		得する街のゼミナール「せんなんまちゼミ」事業
想定する実施期間		2017 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉南市では商業集積地が点在しており、商店街が形成されていないことから個店の集客力が乏しく収益をあげるのが難しい現状がある。また大型商業施設の進出、少子高齢化などで従来の顧客が減少してきていることも売上低下の要因である。そのような状況の中、大型店にはない個店・事業主の魅力を伝え、消費者と個店を強く結びつけることが出来る「まちゼミ」事業を実施し、個店には新規顧客と売上を、お客様には満足を、地域には賑わいを取り戻すことを目的として事業を実施する。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南市内で事業を行っている事業所で、個店の魅力アップと地域活性化に積極的に取り組もうとしている小売及び飲食を含むサービス業。及びBtoCに取り組んでいる製造業。
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【第6回せんなんまちゼミ】の実施 令和5年2月1日～2月28日の期間で、得する街のゼミナール「第6回せんなんまちゼミ」を開催し、泉南市内にある29の事業所において39講座を開講することとなった。 コロナ禍での取り組みとして、『オンラインまちゼミの開催』『少数制まちゼミの推進』『参加の全事業所で大阪府感染症対策ステッカーを導入するなど感染症対策の徹底』に取り組み「安心・安全」なまちゼミ開催に向けて取り組んだ。</p> <p>【せんなんまちゼミ実行委員会】7回開催 参加店舗の主体的な関わりを促すため実行委員を選出し実行委員会を開催、会議での検討を踏まえ事業を推進した。 令和4年 6/16 (木) 7/14 (木) 7/26 (木) 8/4 (木) 9/13 (火) 11/15 (火) 令和5年 3/15 (金)</p> <p>【せんなんまちゼミ参加店勉強会】3回開催 下記の通り研修会と結果検証会を開催、全体的なブラッシュアップや事業者同士の協力関係を築くとともに、主体性の育成を図った。また今回は新たな取り組みとしてまちゼミ相談会(座談会)を開催、まちゼミのアフターフォロー、成果、今後の事業展開、その他情報交換と質疑応答を行った。まちゼミに初めて参加するメンバーや参加経験の浅いメンバーが混ざり意見交換を行うことでまちゼミ開催に向けた不安を解消し、参加意識の向上を図った。</p> <p>①第1回参加店研修会・交流会 令和4年10月3日(木) 講師：せんなんまちゼミ実行委員 岡崎まちゼミの会から招聘</p> <p>②第2回参加店研修会(まちゼミ何でも相談会) 令和4年9月9日(木)</p> <p>③結果検証会 令和5年3月17日(金) 講師：せんなんまちゼミ実行委員</p> <p>【まちゼミPRブースの運営】 令和4年11月20日(日)に泉南りんくう公園(SENAN LONG PARK)で開催された「泉南まるごとフェスティバル」にまちゼミPRブースを設置、せんなんまちゼミ事業の認知度向上のための映像上映とミニ講座体験(山陽製紙：リングノート作り)を実施し、参加者にはせんなんまちゼミ公式LINEのお友達登録をお願いした。結果50名が体験講座に参加し、内38名がせんなんまちゼミ公式LINEアカウントをお友達登録するに至った。次年度は公式LINEアカウントについても実行委員で運用し情報発信、周知を行っていくこととなった。</p>
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>
	①府施策連携	
	②広域連携	
	③市町村連携	泉南市の商業担当者と連絡を密にとり、市広報への掲載、泉南市フェイスブックによる広報、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布などの広報活動にて連携を取ることができた。 また市役所が事務局を務める「泉南市観光案内所」にてチラシ配布やまちゼミを開講することができた。
	④相談相乗	まちゼミ開催をきっかけに新規事業立ち上げに向けた事業計画策定支援、企業連携を目的とした紹介支援を個別事業所支援にて対応した。

	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	32.0	総支援企業数(実績)	29.0	支援実績率	90.6%	満足率	96.6%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>新規顧客の獲得を目的に【第6回せんなんまちゼミ】を令和5年2月1日～2月28日の期間で開催、合計382名の受講者(1事業所あたり13名)を迎えることができ、まちゼミに参加した受講者に対して店の良さを伝え、店主やスタッフとのコミュニケーションを通じて信頼を獲得することで、後の顧客候補を獲得することができた。</p> <p>参加事業所には新規顧客開拓、販路開拓に積極的な事業所が多く、まちゼミを通じて今後の事業に対する前向きな意識変化をもたらすことが出来た。また、まちゼミ参加店勉強会とまちゼミ結果検証会を開催、他の事業者とコミュニケーションを図る場を設定することで、お互いに刺激し合い仲間意識を高めることができた。</p> <p>1.支援企業数(実績)について 募集方法・・・会員事業所への郵送、巡回時の案内、参加事業所からの紹介 参加企業数・・・計画段階では32事業所となっていたが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響から参加を見送る事業所もあり29社にとどまった</p> <p>2.満足度について まちゼミ実施後の講師店アンケートにて、「今回のまちゼミに参加してどうでしたか」の問いに対して「満足」「やや満足」と回答した比率 28件/29件=96.6%</p> <p>3.指標について せんなんまちゼミ実施後のアンケート、ヒアリング、結果検証会において 事業所や商品のPR,新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合 支援企業数・・・・・・・・・・【29】 成果があった事業所数・・・【26】</p>							
	代表指標	事業所や商品のPR,新規顧客開拓に成果があったと回答した事業所の割合							
	数値目標	70%	実績数値	89.6%	目標達成度	128.0%			
	成果の代表事例	<p>英会話塾・・・泉南市内で新規開業したばかりの英会話塾で、営業は自宅の一室を使って行っている。まずは英語に触れて楽しんでもらいたいという思いをもって販路開拓の機会をうかがっていたが、手持ち資金が潤沢ではなくお金をかけた広報活動や情報発信が難しい状況であった。今回のまちゼミに参加し、まちゼミチラシに事業所情報が掲載されたことで、地域住民に対して「事業所の存在」と「事業内容」をPRすることができた。また開講した英会話ゲーム講座では、予想と全体平均を上回る22名の受講者を集めることができた。受講者からは新たなニーズ(「英語を学びたい」ではなく「単純に英語で会話したい」)を把握することもでき、今後の塾内容検討の際の参考とすることができた。今後参加者を塾生へとつなげられるようアフターフォローの実施や、SNS発信について支援を実施する予定である。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>・参加店舗のモチベーションアップ コロナ禍に入り、対面式の参加店勉強会が開催しづらい状況が続いたこと、また参加店勉強会を開催してもコロナ感染のリスクから参加を見送る事業所が多かったため事業所が顔を合わせ意見交換をする機会が十分取れず参加店舗の参画意識が大きく低下していた。令和4年度はコロナによる影響が緩和しつつあり、参加者数も増加に転じていることから令和5年度の実施に向けては、好結果と成功事例の共有を通して参加店舗のモチベーションアップを図る。</p> <p>・参加店舗数の増加 令和4年の好結果と成功事例を過去の参加店舗に共有することで、コロナ禍で落ち込んだ参加店舗数の回復を図る。</p> <p>・まちゼミに参加した事業所の成果をさらに成長させる。 「新規顧客の開拓」「売上の増加」「モチベーションアップ」などの成果を成長させるため「せんなんまちゼミ」に合った参加店勉強会やその他イベントについて実行委員と検討をすすめる。</p>							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

泉南市商工会

事業名		工業振興対策事業																																							
想定する実施期間		2021 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること																																							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症の影響により、りんくう地域を中心とした沿岸部、市内内陸部と山陸部に点在する製造業を中心とする工業系事業者にとって経営課題を共通認識し課題解決に向けた地域事業者間の情報交換は必要と考えており、先進事業所などの技術やノウハウ、経営方針など他社事例を視察することで自社の気付きや取り組む方向性を見出し前向きに経営すること、また中小企業が有する共通・共有の経営課題解決に向けた経営セミナー（府施策連携の中から選択する）を開催し経営力の向上に対するそれぞれの意識を高め、その結果として工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化を目指すことを目的とする。																																							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	製造業を中心とした工業系事業者。																																							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>工業系事業者をターゲットとし、自社の経営力強化に結び付くよう下記事業を開催した。</p> <p>①経営セミナー【人材育成型】 経営セミナーとして、工業振興対策委員会にて、事業者の経営力の向上に資するものを検討し、令和5年10月1日から開始されるインボイス制度について、セミナー内容を決定し、令和5年2月8日（水）15時～17時にて「インボイス制度セミナー」を開催した。セミナー終了後に個別相談を合わせて実施した。</p> <p>②先進事業所視察と情報交流会【人材交流型】 工業振興対策委員会にて視察先を検討し、令和5年3月16日（木）10時～15時にて、関西国際空港を視察先として、事業所視察ツアーを開催した。また、合わせて情報交流会を実施し、自社PRの取り組みや、情報発信・名刺交換を行い、他社の現状や経営方針を聞くことで、双方での交流拡大が図れ、また商工会から参加事業者へそれぞれに適した支援施策の情報提供を行った。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td colspan="7">泉南市産業観光課商工施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td colspan="7">セミナー参加事業者より、インボイス制度についての相談対応を行い、実際に登録すべきかどうかの説明を行った。インボイス登録が必要であると判断されたため、インボイス登録の手続きについて、支援対応を行った。 先進事業所視察における情報交流会において、支援政策等の情報提供を行い、事業所支援へとつなげることができた。</td> </tr> </table>								①府施策連携								②広域連携								③市町村連携	泉南市産業観光課商工施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。							④相談相乗	セミナー参加事業者より、インボイス制度についての相談対応を行い、実際に登録すべきかどうかの説明を行った。インボイス登録が必要であると判断されたため、インボイス登録の手続きについて、支援対応を行った。 先進事業所視察における情報交流会において、支援政策等の情報提供を行い、事業所支援へとつなげることができた。						
	①府施策連携																																								
②広域連携																																									
③市町村連携	泉南市産業観光課商工施策担当者と連携し、経営セミナー開催について情報を共有した。																																								
④相談相乗	セミナー参加事業者より、インボイス制度についての相談対応を行い、実際に登録すべきかどうかの説明を行った。インボイス登録が必要であると判断されたため、インボイス登録の手続きについて、支援対応を行った。 先進事業所視察における情報交流会において、支援政策等の情報提供を行い、事業所支援へとつなげることができた。																																								
計画に対する実績（数値）①	総支援企業数(計画)	35.0	総支援企業数(実績)	46.0	支援実績率	131.4%	満足率	93.5%																																	
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>当商工会工業振興対策委員会にて会議を重ねて、経営セミナーについては、令和5年10月から開始されるインボイス制度についてのセミナー開催を決定し、先進事業所視察と情報交流会として、関西国際空港を視察先として事業所視察を実施した。</p> <p>①経営セミナーについて インボイス制度セミナーを開催し、インボイス制度の概要からスケジュール、制度導入までに準備すべきことを理解してもらった。また、インボイス制度導入で欠かせない適格請求書発行事業者への登録の流れについても正しく把握してもらった。</p> <p>②先進事業所視察と情報交流会について 先進事業所視察先として、関西国際空港の視察を実施した。令和4年10月に第1ターミナルのリノベーション工事の第一段階としてオープンした新国内線エリアの見学、通常立ち入ることの出来ない保安区域内にある給油施設、水素ステーションを見学し、参加者にとって満足度の高い内容となった。他社の技術やノウハウを実際に見ることで、自社経営における課題や改善につながる気づきへとつながった。 また、他事業者と一緒に視察を見学することで、コミュニケーションが生まれ、その中で情報共有や情報交換といった地域事業者との交流のきっかけとなった。</p>																																							
	代表指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合																																							
	数値目標	70%	実績数値	93.5%	目標達成度	133.6%																																			

成果の代表事例	①経営セミナーについて 非課税事業所におけるインボイス制度を登録するべきかどうかの判断が難しいところ、自社の状況をしっかり把握することで、判断を導くことができた。		
	②先進事業所視察と情報交流会について 他社の技術やノウハウを視察することで、自社にとって刺激にもなり、経営活動により一層前向きに取り組みることにつながった。また、新型コロナウイルス感染症の影響で他社との交流の場が減っていた中、感染状況も落ち着き、名刺交換や情報交換を実施できた。		
その他目標値の実績	目標値 (計画)	目標値 (実績)	目標達成度
実施結果	<small>課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)</small> 中小企業が有する共通・共有の経営課題解決に向けた経営セミナー開催や、事業所視察を実施することで自社の気づきや前向きな経営活動となるよう、次期以降も継続して取り組む。また、新型コロナウイルス感染症の緩和が進んでいく中で、事業者との交流の場となる機会を創出し、つながりを増やし、工業系事業者に関わらず市内の事業者が一体となり経営改善・活性化となるよう継続して実施していく。		

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	15.0	支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	173.3%	満足率	88.5%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	インボイス制度についての概要、仕組みを理解してもらった。また、売り手側、買い手側の留意点、税額計算の方法、適格請求書発行事業者の登録申請手続き、クラウド会計について幅広い知識の定着へとつながった。							
		指標	今後の事業に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	93.5%	目標達成度	133.6%		
その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)	目標達成度						
実績/達成度②	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	20.0	支援企業数(実績)	20.0	支援実績率	100.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	関西国際空港を視察し、技術やノウハウを目で触れることで、様々な気づきや自社経営の前向きな取り組みへとつながった。また、他社との情報交換を交わすことができ、情報共有ができ、良い事業所との交流の場にもなった。							
		指標	視察先の取組を参考にし、経営課題の解決の取り組み、取り組みたいと回答した事業者の割合						
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%		
その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)	目標達成度						

泉南市商工会

事業名		情報発信力強化事業							
想定する実施期間		2022 年度～ 年度まで ※複数年度段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>本事業の目的は、現状SNSを活用した情報発信が十分行えていない事業所がSNS活用を通じて個店の情報発信力を強化することにある。</p> <p>泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）の開園や、イオンモールりんくう泉南店の営業により大阪府内のみならず府外からも多くの人が泉南市に訪れている状況であるが、消費者の消費行動はりんくうタウンに集中している傾向があり、市内事業所（特に中心部）へ経済効果が波及していない。市内事業所には魅力ある商品やサービス、店舗が存在しているが個店の情報発信力が弱いため来街者に個店の魅力が伝わっていないことが原因と考えられる。</p> <p>そこでセミナーを開催し個店の情報発信力を強化することによりりんくうタウンに集まった動線を市内全域に広げ経済効果を波及させることを狙いとする。本セミナーを受講することで、販促ツールとしてSNSを活用をしたことがない事業者であってもアプリ導入方法からアカウント作成方法、効果的な投稿の手法を学ぶことができる。</p> <p>またすでにSNSに取り組んでいるものの運用がスムーズにいかず更新が滞り商機を失っている事業者や、SNSに対して苦手意識を持っている事業所についても本事業でフォローすることで店舗認知度を向上させ、新規顧客獲得と売上アップにつなげたい。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	販促ツールとしてのSNSを事業に活用できていない事業所、新規顧客獲得を目指している事業所、BtoCを目指している製造業、顧客や一般消費者と相互コミュニケーションが必要な事業所など40社							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>支援する対象に対してレベルの異なる以下の2種類のセミナーを開催し、SNSを活用した方法発信により販路開拓・新規顧客獲得を実践できる人材育成に寄与した。</p> <p>①「SNS発信力強化セミナー（基礎編）」 本セミナーでは現在普及している各種SNSの特徴や活用方法、活用事例など集客につなげる為の基礎知識を通して中小企業・小規模事業者でも取り組みやすいSNS活用術を学んでいただいた。 【開催日程】令和4年10月5日（水）13：30～15：15 【講師】大阪府よろず支援拠点より招聘 【参加者数】20名</p> <p>②「SNS発信力強化セミナー（Instagram編）」 本セミナーでは写真や動画といったビジュアルメインで、かつBtoCで集客しやすいInstagramについて、中級者向けの内容について学んでいただいた。アカウントの基本設定や機能を活用した販売促進と集客方法、フォロワーを増やす方法など、各事業者においても導入しやすく効果の出やすい取り組みと事例の紹介を行った。また投稿から派生するコミュニケーションを通じてファンを獲得する方法や、ビジネスアカウントの活用方法など、より実践的でワンランク上のSNS活用を目指す方向けに開催した。セミナー内では実際にスマートフォンの画面を確認しながら操作を進めたり、グループワークを取り入れるなど、講義を聴くだけでなく実践的な内容で学んでいただくことができた。 【開催日程】令和4年10月5日（水）15：25～17：30 【講師】大阪府よろず支援拠点より招聘 【参加者数】23名</p> <p>両セミナー終了後には各講師による個別相談会を開催、事業所ごとに発信内容についての相談や、SNSから集客に結びつけるランディングの方法など、一歩踏み込んだ個々の相談案件について対応した。</p>							
		<p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>セミナー開催の際は泉南市市民生活環境部産業観光課と連携し泉南市役所窓口での開催チラシの配布と開催情報の提供を行った。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>セミナー当日に都合がつかず参加できなかった事業所からSNS活用についての支援ニーズがあり、Instagramプロアカウント、写真や動画の撮り方についての個社支援を実施した。またSNS活用をきっかけに販路開拓に取り組みたいという事業所から相談を受け事業計画策定支援を実施した。</td> </tr> </table>	①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	セミナー開催の際は泉南市市民生活環境部産業観光課と連携し泉南市役所窓口での開催チラシの配布と開催情報の提供を行った。	④相談相乗
①府施策連携									
②広域連携									
③市町村連携	セミナー開催の際は泉南市市民生活環境部産業観光課と連携し泉南市役所窓口での開催チラシの配布と開催情報の提供を行った。								
④相談相乗	セミナー当日に都合がつかず参加できなかった事業所からSNS活用についての支援ニーズがあり、Instagramプロアカウント、写真や動画の撮り方についての個社支援を実施した。またSNS活用をきっかけに販路開拓に取り組みたいという事業所から相談を受け事業計画策定支援を実施した。								

事業 全体 の実績 ／ 目標 達成 度	計画に対する 実績（数値）	総支援企業 数(計画)	40.0	総支援企業 数(実績)	41.0	支援 実績率	102.5%	満足率	93.0%	
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	<p>今までSNSに取り組んでいなかった（もしくは取り組んでいたが積極的ではなかった）事業所については初級編を受講いただくことで、コロナ禍で多様化するニーズに対応する為にはSNSを活用した積極的な情報発信が有効であることをご認識いただくことができた。セミナー終了後に収集したアンケートや事後のヒアリングから、「苦手意識が改善した」「情報発信の基礎知識が身についた」「今後意欲的に情報発信できそうだ」というような、SNSについて積極的に取り組む姿勢と意欲の高まりを感じることもできた。</p> <p>また、中級～上級者向けに開催したInstagram編ではインサイトを活用し、アカウントのフォロワーの年齢、男女比、性別、地域などのデータや、それぞれの投稿に対するエンゲージメントなどの分析方法学んでいただくことで目的意識を持ったSNS運用について学んでいただくことができた。</p>								
		代表指標	セミナー終了後のアンケート、ヒアリングにて事業での情報発信に取り組んでいく、取り組みたいと回答した事業所の割合							
		数値目標	70%	実績数値	100.0%	目標達成度	142.9%			
	成果の代表事例	<p>泉南市内にあるサービス業（整体トレーニング） セミナー受講をきっかけに、女性向けサービスであるピラティス＆ヨガ講座の集客強化を目的としてInstagramのインサイト機能を活用し投稿の分析を始めた。投稿の時間やデザイン、色使いについて試行錯誤し女性から共感を得やすいSNS運用を心掛けるようになったことで、結果として女性フォロワーが増加し、SNSから新規顧客の獲得にもつながった。</p>								
その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>セミナー受講者が実際にSNSを活用できているか、効果が出ているのか確認のフォローを実施し必要に応じて経営指導員による個別支援や、専門家を活用した高度支援を実施することで効果が出るまでを後押しする。</p> <p>また、セミナーを受講しSNS活用が順調に進んでいる事業所の事例を調査し共有することで成功事例を波及させていく。</p>								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績 ／ 達成 度 ①	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	20.0	支援企業 数(実績)	19.0	支援 実績率	95.0%	満足率	95.0%	
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	<p>SNSをまだ導入していない、また導入しているものの十分活用できていない事業者に対して、苦手意識を克服し自主的にSNSを活用した情報発信ができるよう、基礎知識を身に付けていただくことで情報発信力の強化につながった。</p>								
		指標	セミナー終了後のアンケート、ヒアリングにて事業での情報発信に取り組んでいく、取り組みたいと回答した事業所の割合							
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				
実績 ／ 達成 度 ②	計画に対する 実績（数値）	支援企業 数(計画)	20.0	支援企業 数(実績)	22.0	支援 実績率	110.0%	満足率	91.3%	
	目標の達成度 (支援企業を どう変化させる ことができたか)	<p>Instagramをすでに導入しているが十分活用できていない、フォロワーが少ない、SNSの効果を実感していない事業所に対して中級者向けに実践的なSNS活用法を学んでいただくことができた。単に投稿するだけでなく投稿の分析、フォロワー数推移の分析等を実施することでSNS活用のモチベーション維持と情報発信力の強化につながった。</p>								
		指標	セミナー終了後のアンケートにて「情報発信力の強化」につながったと回答した事業所の割合							
		数値目標	70%	実績数値	100%	目標達成度	142.9%			
	その他目標値の実績	目標値 (計画)		目標値 (実績)		目標達成度				

泉南市商工会

事業名	地域連携型「泉南まるごと物産展」事業	
想定する実施期間	2013 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	商店のほとんどが点在している泉南地域では、商店街等の商業集積地域が少なく、また大型店の出店に伴い商店が疲弊し集客力に乏しいのが現状である。そこで地域の商業者の店舗を1ヶ所に集めシリーズ「地産知消」（地域で生産されたものを知って消費する）として物産展を開催することで集客力を高めることが出来る。大型店にはない泉南地域の事業所自慢の商品を展示PR・対面販売することで商品の良さを知ってもらい、販路開拓につなげることを目的とする。
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉南地域（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の事業者全般
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>令和4年11月20日（日）10時～15時に「泉南まるごとフェスティバル」を泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）で開催し、当イベント内において「地域連携型泉南まるごと物産展」を実施した。近隣商工会と連携することで計58社（泉南市32社・阪南市18社・熊取町3社・岬町3社・忠岡町2社）が出店し商品と事業所のPRを行った。当日は朝から雨天の予報だったが徐々に天候は回復し、穏やかな天候のもと約4000名の来場者を迎えることができ各出展事業所の販売・PRに寄与した。</p> <p>今回で3回目となる「泉南まるごとフェスティバル」は、過去7回開催した地域活性化イベント「泉南マルシェ」を令和2年にリニューアル、後継イベントとして泉南りんくう公園（SENNAN LONG PARK）にて開催しており、泉南市内のみならず市外からも多くの人を集められるイベントとして成長した。</p> <p>コロナ禍での開催について、商工会職員全員で会場下見や設営のシミュレーションとミーティングを重ね「安心安全」について徹底的に検討し、当日会場では感染症対策として各ブースにおいても消毒を実施、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用をポスターで周知するなど感染症対策を徹底した。</p> <p>事業者が出店する「泉南まるごと物産展」、手作り作家が出店する「手作りの森マルシェ」、農業者と漁業者が一次産品を直接販売する「新鮮市場」、大阪府技能士会連合会と連携した「プロが教える！ものづくり体験教室」の開催、泉南市観光協会が実施する泉南の魅力を発信するワークショップなど、総計で100近いブースが並び会場を盛り上げたことで、盛会のうちに終了することができた。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p>
	①府施策連携	会場の一角に大阪府技能士連合会の技能士PRブースを設置、【大阪府印章技能士会による石のはんこづくり教室】【大阪府フラワー装飾技能士会によるフラワーアレンジメント教室】【大阪府調理技能士会によるプロに学ぶだし巻きのコツ料理教室】【大阪府畳技能士会によるミニ畳制作教室】【大阪内装仕上技能士会による壁紙封筒づくり教室】の5つのものづくり体験教室を開催し、来場者に対し技能士が有する技術や技能をわかりやすくアピールするとともに、若者へのものづくり体験の機会を提供した。
	②広域連携	連携商工会の担当者と随時連絡を取り、昨年の反省点や改善点など意見交換が出来る連携体制を構築した。その後も適宜担当者で連絡を取りつつ円滑な事業運営を実施した。
③市町村連携	泉南市産業観光課の担当者含め、地域関係団体で「泉南まるごとフェスティバル運営協議会」「泉南まるごとフェスティバル実行委員会」を組成し会議を開催。地域の商業者と泉南市の商業担当者でまるごとフェスティバル実施に向けた企画、打合せを行った。また広報面でも連携し、市広報への掲載、泉南市内の幼稚園、小学校、中学校へのチラシ配布、市関係のSNSでの発信など広報を行うことができた。イベント当日は泉南市の施策RPブース、観光案内ブースを設け行政施策をアピールすることができた。	
④相談相乗	イベント出店勧誘の際には事業所の支援ニーズを把握することで適切な支援につなぐことができた。またイベント出店の際には事業所の希望に応じてショップカード作成を支援、店頭で配布することでイベント後日に店舗を利用していただけるよう支援を実施した。	

	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	58.0	支援実績率	116.0%	満足率	87.9%
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>泉南市ではこれまで各団体が各々にイベントを開催している状態で、泉南を代表するようなイベントが存在していなかった。本イベント『泉南まるごとフェスティバル』は各団体の垣根を乗り越え、泉南市がワンチームで取り組む一大イベントであり、商工業のみならず農海産物の出店や、地域の各団体を含めた出店を通じて泉南の魅力を広く発信することができた。</p> <p>今回は天候に恵まれない中での開催であったため、前回に比べ来場者は約半減しているものの、その分ブース来店時に丁寧な接客、商品PRを実施することができ売上が半減するほどの影響は防ぐことができた。</p> <p>回を重ねるにつれて地元からのイベント認知が広がり、泉南市内の事業者からの出店希望数が増加傾向にある。（前々回23社→前回26社→今回32社）</p> <p>1.参加企業数（実績）について ・広域連携で実施。各商工会からはほぼ計画通りの出店者数、泉南地域からは計画を上回る出店希望があり（泉南から32店舗、阪南から18店舗、熊取から3店舗、岬から3店舗、忠岡から2店舗）合計58店舗の出店となった。</p> <p>2.満足度について ・まるごと物産展終了後のアンケートにて満足・やや満足と回答した出店事業所数の割合(51/58)。前回に比べ来場者が約半減した影響で、出店した事業所の満足度は低下した。（前回94.3%→今回87.9%）</p> <p>3.指標（新規顧客獲得・売上増加した事業所）について ①販売件数50件以上 ②販売金額20,000円以上 ・上記①②のどちらかに該当する事業所数： 44事業所</p>							
	代表指標	新規顧客獲得・売上が増加した事業所							
	数値目標	30	実績数値	44	目標達成度	146.7%			
	成果の代表事例	<p>製造業：泉南市内にあるホーロー製品製造事業所 製造過程でどうしても発生してしまうB品ホーロー製品（小さな傷やへこみ、塗装のムラなど使用には何ら問題ない程度のもの）をイベント会場販売したところ、通常より格安で購入できるということが多く来場者に人気のブースとなった。また本事業所は近年アウトドア用ホーロー食器の製造にも力を入れており、昨今のアウトドアブームと相まって売上を伸ばすことができた。B品販売で集客し、高単価のアウトドアグッズで収益をあげられるよい機会だと今後も継続して出店を希望している。</p>							
その他目標値の実績	目標値（計画）	4,000名	目標値（実績）	4,000名	目標達成度	100.0%			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>イベント開催日は、前日の天気予報では雨が予想され当日の来場者数に大きく影響することが予測されていたが、イベント開催中雨に見舞われることはなく徐々に天候は回復し、穏やかな天候のもと約4000名の来場者を迎えることができた。</p> <p>会場内では感染症対策として出店事業所はすべて大阪府感染症対策ステッカーを取得し、各ブースにおいても消毒を実施、ソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用をポスターで周知するなど「安心安全」を目指し感染症対策を徹底したおかげで、感染者を発生させることなく来場者には安心してイベントを楽しんでいただくことができた。また事前の広報では泉南市内への新聞折込だけでなくSNSやイベント情報サイトを活用、出店者へもSNSを活用した情報発信を促したことで泉南市外からの来場者の増加につながった。</p>							

令和4年度（2022年度）小規模事業経営支援事業 地域活性化事業実績報告書

泉南市商工会

事業名		人材ニーズ対応支援事業						
想定する実施期間		2022 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>少子高齢化による労働人口の減少や働き方の多様化など社会構造の変化が要因で、人材不足の問題が深刻化している。中小企業においては、人材を雇用する上でも、人件費がかかり、また求める人材を雇用することが難しい現状である。そういった状況の中、政府は働き方実行計画として、副業・兼業の普及促進を図るガイドラインを策定し、いよいよ副業時代が到来してきている。副業を解禁する大企業も続々と増えテレワークが普及していく中、柔軟な働き方が可能になり、大企業に所属する人材のノウハウを活用する機会を創出している。人材不足による経営課題を打破するために、雇用ではなく業務委託による副業人材の活用法を理解し、人材活用の選択肢の幅を広げてもらう。副業人材を柔軟に活用することで、人手不足による様々な経営課題を解決することを目的とする。</p>						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉州地域2市3町（泉南市・阪南市・熊取町・岬町・忠岡町）の事業者全般であり、人材不足を経営課題として認識している中小企業等の経営者および管理職を対象とする。						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>開催内容：副業プロ人材活用セミナー 開催日時：令和4年7月27日（水）10時～8月24日（水）17時まで 開催手法：Youtube動画配信</p> <p>●第1部「副業人材活用法を解説」 自社の成長戦略を実現するために、副業プロ人材の活用法を解説を行った。また、大阪府プロ人材による支援事例を紹介し、活用法をより具体的にイメージしてもらい、副業プロ人材活用法を学んでいただいた。</p> <p>●第2部「中小企業のための人材採用コンシェルジュ事業解説（大阪産業局）」 プロによるアドバイスから採用実務までのワンストップサポートを展開する「中小企業のための人材採用コンシェルジュ事業」を(公財)大阪産業局より紹介を行った。</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <p>①府施策連携 大阪府商工労働総務課企画グループ、大阪産業局HR戦略部と連携し、副業人材活用の支援を実施した。</p> <p>②広域連携 連携商工会の担当者で随時連絡を取り、参加者募集、チラシ配布やHP掲載など業務を分担した。</p> <p>③市町村連携</p> <p>④相談相乗 雇用促進や労務支援など継続しフォローアップ等を実施。</p>						
	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	43.0	支援実績率	107.5%	満足率
事業全体の実績／目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響や少子高齢化、労働人口の減少など様々な要因で働き方が多様化し、人材不足の問題が深刻化している状況を打破するべく、副業人材の活用を学んでいただいた。また、雇用ではなく業務委託による副業プロ人材の活用法を理解し、人材採用の選択肢の幅を広げてもらった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、期間限定配信のオンライン開催となったが各商工会の連携が取れており、多くの事業経営者が参加され受講した。</p> <p>中小企業が抱える共通の課題解決や今後の方向性を示す内容のセミナーを受講することにより、今後大きく変革するであろう雇用を含めた多様化する労働環境において、副業人材活用を根付かせることができた。</p>						
	代表指標	アンケートの回答で今後の事業運営に役立った、役立てようと思うと回答した事業者の割合						
	数値目標	70%	実績数値	86.0%	目標達成度	122.9%		
	成果の代表事例	セミナーを受講後、(公財)大阪産業局が実施している中小企業のためのコンシェルジュ事業に事業所が取り組み、大阪府プロ人材の専門家とやり取りを行い、副業人材を活用するには至らなかったが、経営課題を見つめなおす良い機会となった。						
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>今回のセミナーを通じて、副業人材の活用法を学んでいただき、適材適所に活用できる利便性を活かして、人材不足解消につなげていく、新たな人材確保の位置付けができた。</p> <p>しかし、泉州地域において、副業人材を活用する上でのリモート活用、テレワークの対応が柔軟に対応できていないところも今後の課題である。働き方が多様化し、人材も流動化している中で、オンライン活用もできるように事業所支援を実施していく。</p>						